

当院で実施している物理療法

医療法人Nクリニック リハビリテーション科

2020.2

ホットパック

加熱したパックを患部（関節や筋肉）などにのせて温めるもので、筋肉の緊張を和らげたり、痛みを軽減させる効果があります。また精神的なリラクゼーションや循環改善の効果が期待できます。

当院では肩関節周囲炎、頸肩腕症候群（肩こりなど）、腰痛症、肉離れの慢性期などで使用することがあります。



アイシング

氷などで患部(関節や筋肉)などを冷やし、炎症や痛みを和らげる効果が期待できます。当院ではアイシングの効果がでやすいようにクラッシュアイス(粒の小さい氷)を使用しています。

当院では捻挫の急性期などに早く炎症を引かせるために電気治療と組み合わせて使ったりします。また不要な炎症の予防を目的に手術後のリハビリテーションの後などにおこなうこともあります。



超音波治療

超音波エネルギーにより、身体の深い部分を温めたり、患部の治癒を促進する効果が期待できます。またギプス固定などでかたくなった関節を柔らかくしたり、痛みを軽減させる効果も期待できます。

当院では様々な原因でかたくなった関節周囲の筋肉や靭帯を柔らかくするために使ったりします。

使用機器

伊藤超短波 コンビネーション刺激装置 EU-940



高電圧治療

高電圧の電気刺激により痛みなどを軽減させる効果が期待できます。ケガ直後や試合前などで少しでも痛みを軽減させたい時によく用います。

当院では変形性膝関節症のような変形性の関節疾患から、捻挫、脱臼のような急性外傷に伴う痛みなど多くの疾患の痛みに対して使用します。ただし、痛みを止めれるのは一時的ですので、同時進行で治癒を促す治療や運動療法をすすめます。

使用機器

伊藤超短波 コンビネーション刺激装置 EU-940



電気刺激療法（干渉波、TENS）

TENSは低周波電気刺激を身体に加えることにより様々な効果を期待する治療方法です。

干渉波は2種類の異なる周波数の電気を組み合わせることにより、電気刺激の効果が高まるといわれている治療法です。

いずれも筋緊張を緩和させたり、痛みを軽減させる効果が期待できます。肩や首のこり、腰部の張りなどによく用います。

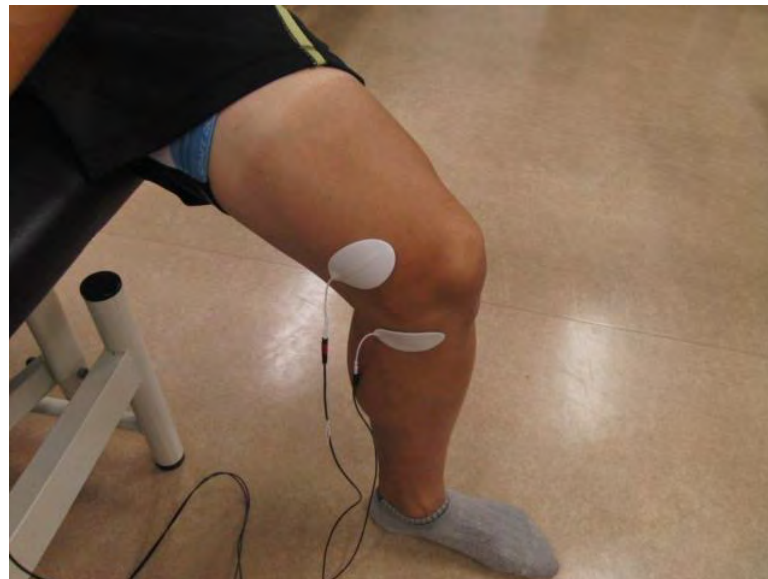
使用機器

伊藤超短波 コンビネーション刺激装置 EU-940



微弱電流(マイクロカレント)

微弱な電流(組織を修復することを手助けする電流)を身体に流すことで、損傷の治癒を促進させる効果が期待できます。痛みを取るというよりは組織の治癒を早めしっかり治すことを期待する治療です。



当院では捻挫による靭帯損傷や肉離れなど組織損傷を伴う様々な疾患に使用します。

使用機器

サンメディカル エレサス



EMS (Electrical Muscle Stimulation)

日本語では「電氣的筋肉刺激」といいます。電気刺激により筋収縮を起こさせ、筋肉の萎縮やかたさを改善する効果が期待できます。手術後の筋萎縮や、筋力強化の手助けとして用います。



当院での主な使い方としては膝の手術後や肩腱板の手術後などでなかなか収縮が入らない筋肉に対してEMSをしながら筋力強化運動を一緒にします。

使用機器

伊藤超短波 コンビネーション刺激装置 EU-940



低出力超音波(LIPUS)

低出力超音波(LIPUS)の刺激により、骨折部位の骨の形成を促進させます。そのため骨折した骨が早く修復され、治癒期間が短くなることが期待できます。

当院では各種骨折から、野球肘やリトルリーグショルダー、オスグッドなどの成長期の骨端核障害にも使用しています。

使用機器

シグマックス アクセラス



頌椎・腰椎牽引装置

頌椎専用、腰椎専用の牽引装置を使用します。牽引することによりその周囲の筋肉などが伸張されるストレッチ効果や、リラクゼーション効果が期待できます。

当院では神経根障害を有する頌椎・腰椎椎間板ヘルニアの患者様に使用することが多いです。

使用機器

酒井医療 スーパートラック



アキュスコープ

従来の電気治療とは異なり、生体内の病的状態を感知し、その情報をもとにその方に最も適した効果的な微弱電流を送ることができるため、痛みを緩和させる効果があります。炎症症状や浮腫の軽減、痛みの軽減が期待できます。

当院では早期の炎症症状に対し、よく用います。

使用機器

サンメディカル エレクトロアキュスコープ
80L



マイオパルス

アキュスコープと同様に生体内の状態を感知し、個々に適した微弱電流を送ります。それにより軟部組織と呼ばれる筋肉、腱、靭帯、骨の修復や痛みの軽減、けがによる筋神経機能の回復にも効果が期待できます。



当院では靭帯損傷や肉離れなどの組織損傷を伴う様々な疾患に対し使用しています。

使用機器

サンメディカル エレクトロマイオパルス75L



物理療法に関する注意点

1. 治療効果は患者様の病態、体質等により様々です。
したがって紹介した効果が現われにくいことがあります。
2. 物理療法の処方に関しては患者様に必要なものを医師と担当の理学療法士が決定します。
3. 原則として物理療法のみでの通院リハビリはおこなっておりませんが、骨折や成長期の骨端核障害など医師もしくは担当のリハビリスタッフが必要と判断した場合は可能となります。

※ご不明な点はリハビリスタッフにお尋ねください